

第3種郵便物認可

ワタリ)

20歳大越 待望の新星

アルペン男子

アルペンスキー男子の日本チームは、佐々木明（PJM、北照高出）らW杯で実績のある3選手に続く若手が待望されて久しい。6日にザグレフで行われた回転第3戦でW杯デビューした20歳の大越龍之介（東海大札幌）は後志管内倶知安町出身は、その筆頭だ。

故郷、ニセコの壮大な雪山で「自分の持ち味は攻めるところ」という果敢な滑りを身に付けた。東海大四高時代には全国高校大会で史上初の2年連続2冠を果たし、昨季に日本や韓国で行われたファイーストカップで種目別優勝してW杯出場資格を獲得した。

デビュー戦はナイターで冷え込み、美しく整備されたアイスバーンを堪

能した。1回目41位で2回目進出(30位以内)は逃したが、細かい旗門設定を粘り強く滑りこなし、声援を浴び「すごい数の観客に見てもらえてうれしい」と、笑顔で話した。東海大札幌の1年後輩には、昨季の世界ジュニア選手権で3位の快挙を遂げた石井智也がいる。石井は右ひざの重傷で今季を棒に振ったが、新しい世代の旗手として注目

W杯 粘り強い滑り



されるホープだ。「いいライバルです。こいつに

は負けられないと必死になれる」。W杯で実績を挙げ、差をつけるつもりだ。
(共同)

アルペンスキーW杯男子回転第3戦でデビューし、粘り強い滑りを見せた大越龍之介はザグレフ(共同)